

2022年3月期第1四半期 決算説明会

住

Infrastructure

2021年7月30日
株式会社トプコン
取締役兼常務執行役員
CFO 財務本部長
秋山 治彦

医

Healthcare

食

Agriculture



会社紹介
ビデオ

2022年3月期第1四半期 決算説明会

I. 2022年3月期第1四半期 決算報告

II. 2022年3月期 通期見通し

III. トピックス

IV. まとめ

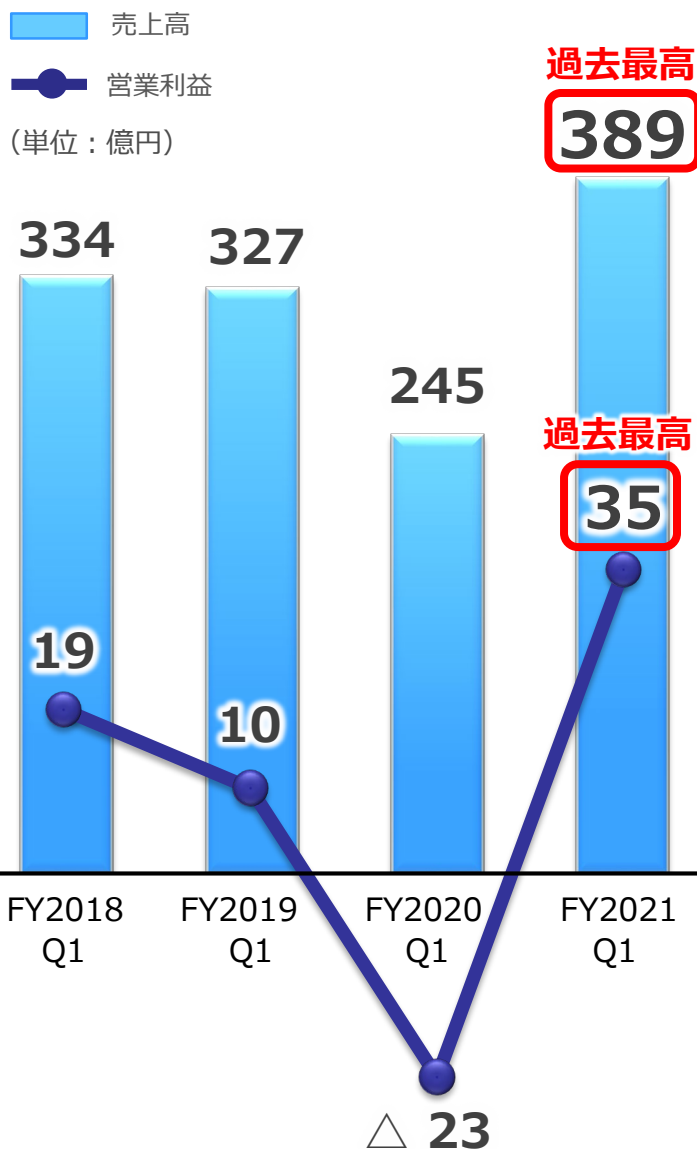
V. 参考資料

I. 2022年3月期第1四半期 決算報告

I-1. 2022年3月期第1四半期 決算報告

I-2. 事業別の状況

FY2021 Q1決算概要



■ V字回復！

売上高・営業利益のQ1過去最高を更新
コロナ前水準を上回る

売上高
営業利益

前年同期比

+59%

FY2019比

+19%

—

+242%

FY2021 Q1実績

■ 売上高・営業利益・経常利益のQ1過去最高を更新

(単位：百万円)

	FY2020	FY2021		
		Q1実績	前年同期比	前年同期比%
売上高	24,493	38,898	14,404	+59%
売上総利益 (売上総利益率)	11,680 (47.7%)	20,331 (52.3%)	8,650	+74%
販管費	14,003	16,872	2,869	
営業利益 (営業利益率)	△2,322 (△9.5%)	3,458 (8.9%)	5,781	
営業外損益	△721	△250	470	
経常利益	△3,043	3,208	6,252	
特別損益	△31	0	31	
税引前利益	△3,074	3,208	6,283	
四半期純利益	△2,482	1,823	4,305	
為替 換算レート (期中平均)	USD EUR	107.74 円 118.94 円	110.00 円 131.78 円	2.26 円 12.84 円

FY2021 Q1事業別実績

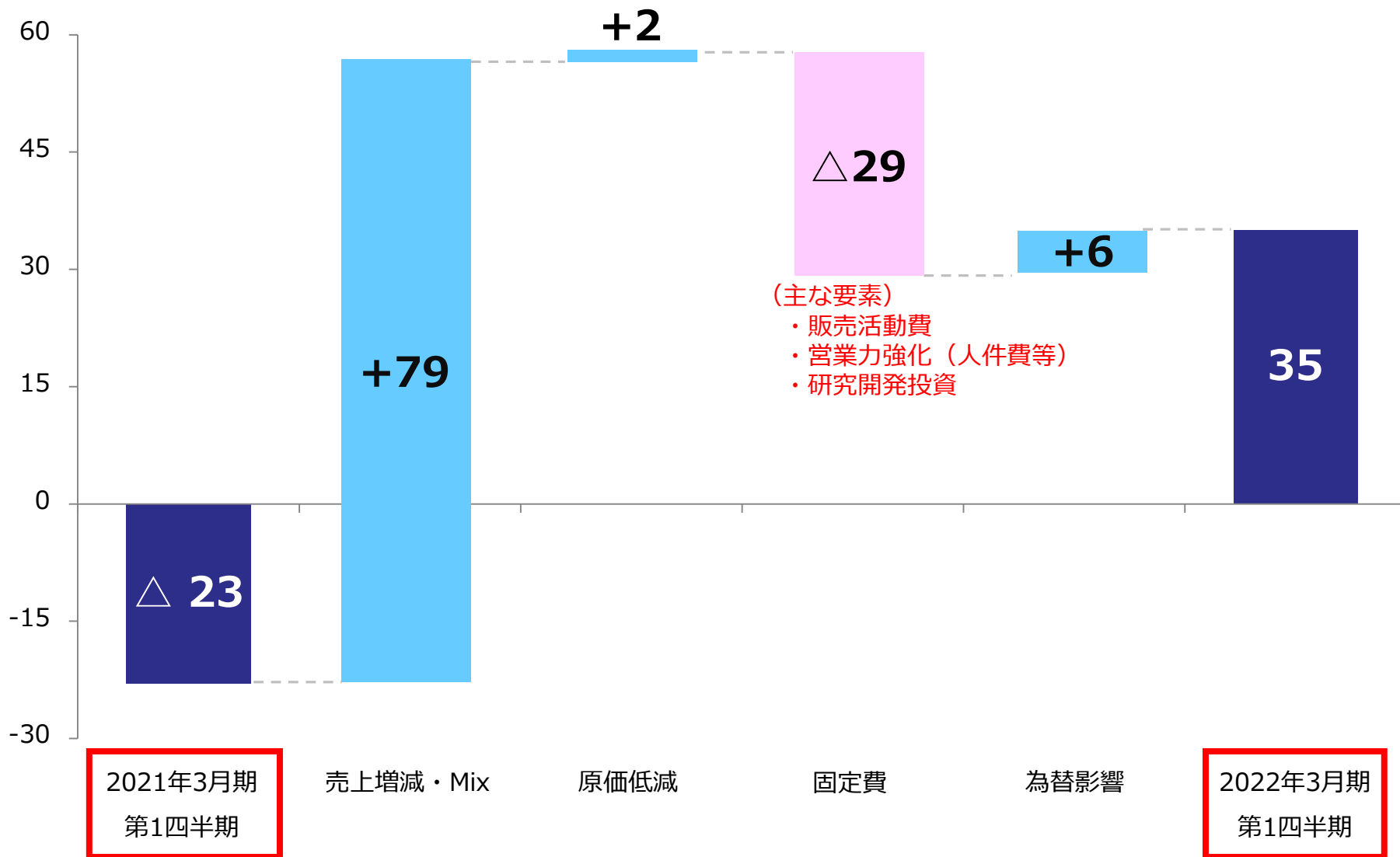
■ 全事業で大幅増収増益

(単位：百万円)

		FY2020	FY2021		
		Q1実績	Q1実績	前年同期比	前年同期比%
売上高	ポジショニング	14,416	22,645	8,228	+57%
	スマートインフラ	6,331	8,700	2,369	+37%
	アイケア	6,343	11,398	5,055	+80%
	その他	229	275	45	+20%
	消去	△2,827	△4,122	△1,295	
	合計	24,493	38,898	14,404	+59%
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	553 (3.8%)	3,061 (13.5%)	2,508	+453%
	スマートインフラ	235 (3.7%)	1,287 (14.8%)	1,051	+446%
	アイケア	△1,904 (△30.0%)	233 (2.1%)	2,138	黒字化
	その他	△138 (△60.2%)	△89 (△32.5%)	48	-
	調整	△1,069	△1,034	35	
	合計	△2,322 (△9.5%)	3,458 (8.9%)	5,781	-

FY2021 Q1増減益分析（営業利益ベース:前年同期比）

（単位：億円）



I. 2022年3月期第1四半期 決算報告

I-1. 2022年3月期第1四半期 決算報告

I-2. 事業別の状況

■ 売上高・営業利益 Q1過去最高

(単位：百万円)

	FY2020	FY2021		
	Q1実績	Q1実績	前年同期比	%
売上高	14,416	22,645	8,228	+57%
営業利益 (営業利益率)	553 (3.8%)	3,061 (13.5%)	2,508	+453%
為替 換算レート (期中平均)	USD 107.74 円	110.00 円	2.26 円	
	EUR 118.94 円	131.78 円	12.84 円	

■ Q1業績要因分析

・全般

-欧米市場を中心に旺盛な需要を捉え大幅増収増益

・ICT自動化施工

-アフターマーケットは好調継続、コロナ前比でも販売大幅伸長
-OEMも大幅伸長、コロナ前水準を回復

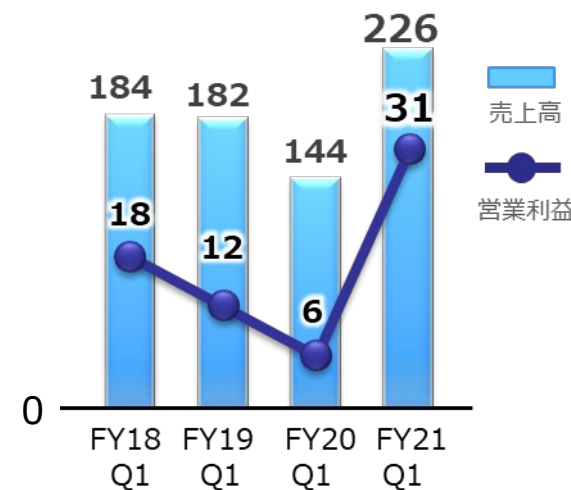
・IT農業

-アフターマーケットは好調継続、コロナ前比でも販売大幅伸長
-OEMも大幅伸長、コロナ前水準を回復

・測量・レーザー

-コロナ移住需要で欧米住宅建設市場の活況継続

売上高・損益推移 (単位：億円)



■ 売上高・営業利益 Q1過去最高

(単位：百万円)

	FY2020	FY2021		
	Q1実績	Q1実績	前年同期比	%
売上高	6,331	8,700	2,369	+37%
営業利益 (営業利益率)	235 (3.7%)	1,287 (14.8%)	1,051	+446%
為替 換算レート (期中平均)	USD 107.74 円	110.00 円	2.26 円	
	EUR 118.94 円	131.78 円	12.84 円	

■ Q1業績要因分析

・全般

- 堅調な国内販売が全体を牽引
- 東南アジアは低迷継続

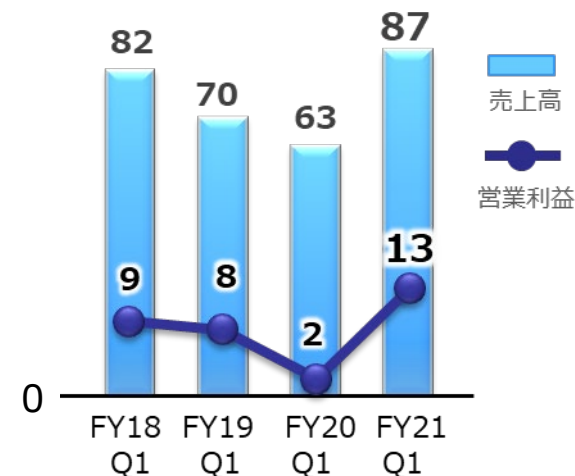
・国内

- 建設：測量機、小型建機用ショベルシステムの販売好調
- IT農業：補助金効果の反動で一時的な需要減も、
根強い省力化ニーズを背景に自動化が進展

・欧米

- 欧米向け測量、レーザー販売好調継続

売上高・損益推移 (単位：億円)



大幅増収・黒字化

(単位：百万円)

	FY2020	FY2021		
	Q1実績	Q1実績	前年同期比	%
売上高	6,343	11,398	5,055	+80%
営業利益 (営業利益率)	△1,904 (△30.0%)	233 (2.1%)	2,138	黒字化
為替 換算レート (期中平均)	USD 107.74 円	110.00 円	2.26 円	
	EUR 118.94 円	131.78 円	12.84 円	

Q1業績要因分析

・全般

-欧米・中国市場を中心に販売好調持続

・スクリーニングビジネス

-大手眼鏡チェーン店からの需要回復、OCT販売伸長

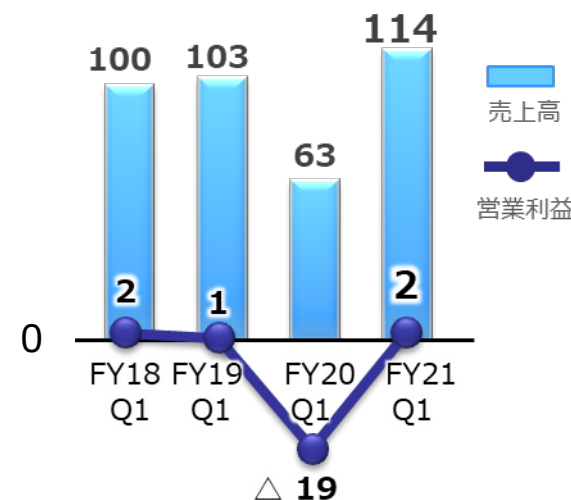
・検眼システム

-リモート検眼需要が引き続き堅調

・中国

-旺盛な設備投資意欲や拡大するAIスクリーニング需要を取り込み売上好調継続

売上高・損益推移 (単位：億円)



Ⅱ. 2022年3月期 通期見通し

今後の事業見通し

■ マクロ環境の見通し (事業共通)

- ・ 旺盛な住宅・インフラ投資、高値圏で推移する穀物価格を背景に、欧米を中心に建設・農業分野の需要拡大が継続
- ・ 原材料価格や物流コストの高騰、半導体不足による生産への影響、それに伴うリードタイムの長期化により出荷・売上遅延リスクが高まる
- ・ 東南アジアを中心とする変異株感染拡大の懸念により先行き不透明な状況が継続

■ 事業環境の見通し

ポジショニング

- ・ 欧米建設市況は好調持続、建設技能従事者不足に伴う自動化ニーズ拡大も追い風
- ・ 高水準の穀物価格を背景に農家の旺盛な設備投資需要が継続

スマートインフラ

- ・ 国土強靱化計画が追い風、ICT活用工事は引き続き増加傾向
- ・ 国内IT農業は補助金効果の反動による一時的な需要減も、根強い省力化ニーズを背景に自動化が進展
- ・ 東南アジアはコロナ影響が長期化、回復時期は不透明

アイケア

- ・ 欧米スクリーニング需要は順調に拡大
- ・ 中国事業は拡大基調も景気に先行き不透明感
- ・ 東南アジアはコロナ影響が長期化、回復時期は不透明

FY2021 通期見通し

■ 期初計画から変更なし

(単位：百万円)

	FY2020	FY2021	
	通期実績	通期見通し	前年度比
売上高	137,247	149,000	+9%
営業利益 (営業利益率)	6,593 (4.8%)	10,000 (6.7%)	+52%
経常利益	5,587	8,000	+43%
純利益	2,376	5,000	+110%
ROE	3.6%	7%	
配当	10円	20円	
配当性向	44%	42%	
為替換算レート (期中平均)	USD EUR	106.17円 123.73円	※ 108円 128円

※ Q2以降前提レート

FY2021 通期見通し (事業別)

(単位：百万円)

		FY2020	FY2021	
		通期実績	通期見通し	前年度比
売上高	ポジショニング	71,416	78,000	+9%
	スマートインフラ	33,982	36,000	+6%
	アイケア	44,251	50,000	+13%
	その他	1,165	1,000	△14%
	消去	△13,568	△16,000	
	合計	137,247	149,000	+9%
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	6,064 (8.5%)	7,000 (9.0%)	+15%
	スマートインフラ	4,972 (14.6%)	5,000 (13.9%)	+1%
	アイケア	122 (0.3%)	2,500 (5.0%)	+1,949%
	その他	△536 (△46.0%)	△300 (△30.0%)	-
	調整	△4,028	△4,200	
	合計	6,593 (4.8%)	10,000 (6.7%)	+52%

Ⅲ. トピックス

■ トプコンとオムロン ヘルスケア、中国ヘルスケア事業で協業を深化

(2021年6月8日付ニュースリリース) <https://www.topcon.co.jp/news/20210608-29503.html>

協業分野：

生活習慣病の健診(スクリーニング)の普及促進



健診機器の提供



無散瞳眼底カメラ
TRC-NW400

フルオート機能による
ワンタッチ操作



健診施設の整備

メタボリック
マネジメントセンター
(MMC)

専門医・製薬会社・医療IT企業
と共に病院内にワンストップで
糖尿病患者の情報を管理し、
合併症も含めた適切な診察を
受けられる施設。
2021年3月時点で**760**拠点

背景

中国における
生活習慣病患者(高血圧や糖尿病等)
増加に伴う健診需要の拡大

取り組み

- ・ オムロンが展開する施設へ
NW400を提供 (糖尿病検診向け)
- ・ 拡大する他の健診センターへも
販売を強化

伊・眼科用医療機器メーカーVISIA Imaging社を買収

(2021年7月7日付ニュースリリース) <https://www.topcon.co.jp/news/20210707-29644.html>

前眼部(角膜、水晶体など)検査機器とそのソフトウェアを開発・製造するイタリア企業を買収
眼科診断機器メーカーとしての**総合力の強化**を目指す



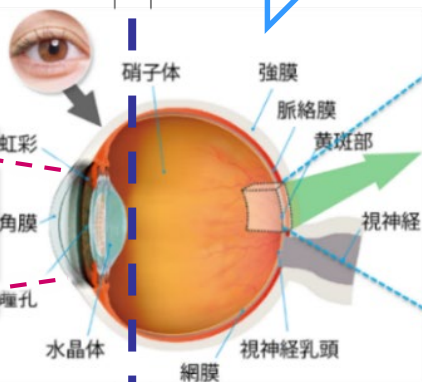
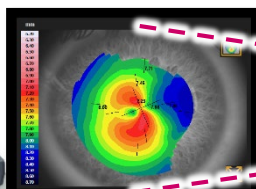
強み

前眼部検査機器と
周辺ソフトウェアの
開発・製造力

前眼部



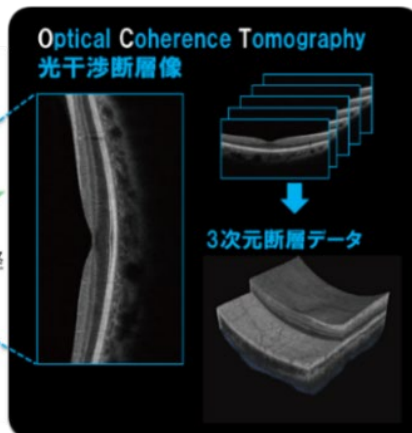
眼軸長・角膜形状測定装置
MYAH ※国内薬事未承認品



後眼部

強み

眼底カメラやOCT等
眼底イメージング機器の
開発・製造・販売力



3次元眼底像撮影装置
3D OCT-1

ねらい

- ・ 製品ポートフォリオの拡充
- ・ アイケア事業のグローバルな開発・製造体制の強化

「医・食・住」に関する社会的課題をDXで解決する当社取り組みが高評価!!

(2021年6月7日付ニュースリリース) <https://www.topcon.co.jp/news/20210607-29484.html>

株式会社トプコン
(精密機器 / 7732)

DX銘柄2021
Digital Transformation

「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。

経営ビジョンにおけるDXの位置づけ

トプコンの事業領域である「医・食・住」の分野は、それぞれ高齢化や人口増加等に伴う社会的課題に直面しており、また大きな産業にもかかわらず、IT化や自動化が遅れています。これらの社会的課題に対し、トプコンは光学やセンシング・制御技術などの独自技術をベースに、さらに、グローバルな組織体制で、IoTとネットワーク技術を駆使したDXソリューションで解決することを中期経営計画に掲げて取り組んでいます。

医 (ヘルスケア)

世界的な高齢化に伴う
慢性疾患の増加

高齢者の
生活の質の向上

手術支援
早期発見

遠隔診療
診断

トラスステック
診療機器

DXソリューション
手術支援システム

食 (農業)

世界的な人口増加に伴う
食料不足への懸念

農業の工場化

生産性向上
労働負荷の軽減

計測 収穫 育成 収穫

圃場の自動運転やデータの一元管理

住 (建設)

世界的なインフラ受注に伴う
技能者の不足

建設工事の工場化

生産性向上
人手不足解消

現場 設計 施工 検査

建設工事のワークフローの一元化

トプコンのDXソリューション

① 建築工事の生産性・品質向上への取り組み

建築工事では既に設計段階でBIMの導入・普及が進んでいますが、実際の現場では、BIMで作成された3次元デジタルモデル(バーチャル)と施工現場(リアル)を繋ぐためのソリューションがなく、2次元の紙図面に印刷出力して、施工作業が行われているのが実状です。

トプコンは、3次元デジタル測量機やレーザースキャナなどのセンシング機器とBIMデータに連携するソフトウェアを開発し、断絶しているリアルとバーチャルの隙を橋渡しするBIM連携ソリューションにより、「建築工事の工場化」を実現し、省人化、施工品質・生産性の向上を図るDXソリューションを提案します。

建築工事のデジタルツイン

バーチャルとリアルを繋ぐための位置データで結びつけられる

施工現場での位置決め

位置データとBIMデータを連携

バーチャルモデル (BIMデータ)

施工現場/管理 (施工現場)

センシング機器とソフトウェアで橋渡し

② クラウド型農業マネジメントIoTソリューション

トラクターの自動操舵システムや各種生育・収穫センサ、施肥設計・酪農用ソフトウェアを活用し「農業・酪農の工場化」を推進しています。

TAP(Topcon Agriculture Platform)はクラウドで農業サイクルに関わる機器の制御から、データの収集、分析の上、更なる作業効率化を提案するソフトウェアです。

ベンダーフリーであらゆる農機やシステムとも接続可能であり、世界的な人口増加に伴う食糧不足への懸念を解決するDXソリューションとなります。

DX調査2021-達成状況

株式会社トプコン

全体平均

精密機器平均

1. ビジョン・ビジネスモデル

2. 戦略

3. 成果と成果指標

4. ガバナンス

1. 人材・組織・企業風土

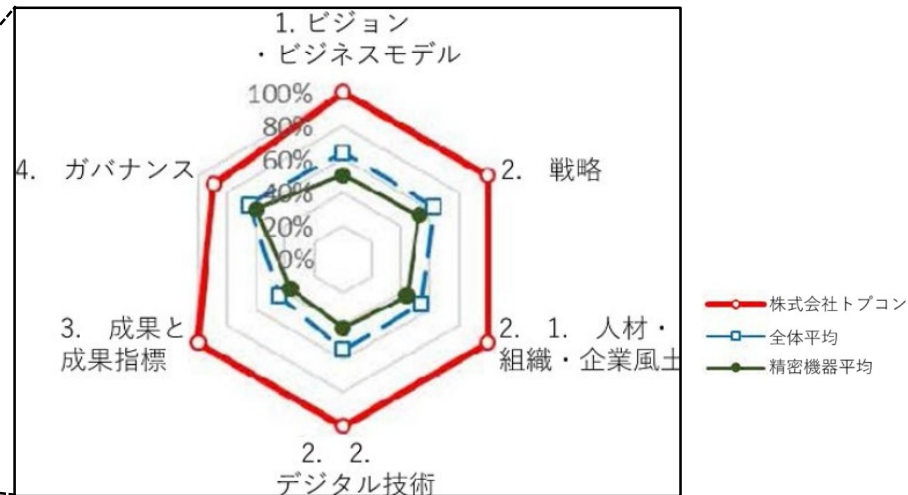
2. デジタル技術

国内上場企業 約3,700社を対象として、

総合評価点の最も高い企業

28社がDX銘柄に選出

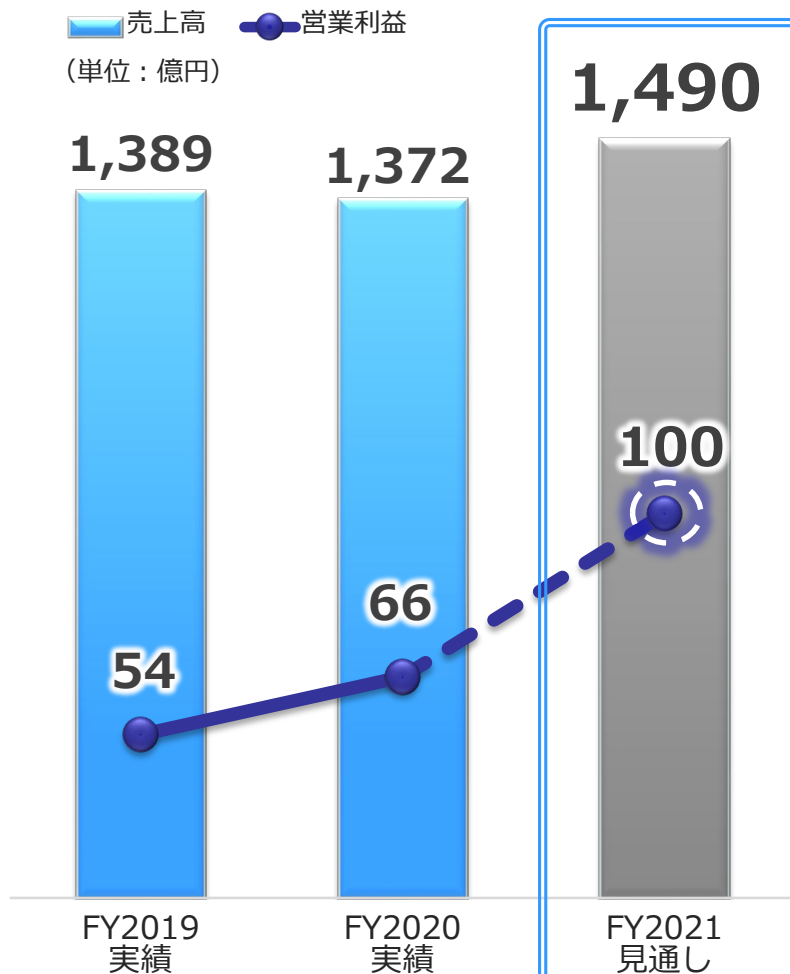
当社総合評価結果 (経産省資料より抜粋)



経済産業省発表資料

IV. まとめ

■ 期初計画から変更なし



増収・増益・増配

	見通し	前年度比
売上高	1,490億円	+9%
営業利益	100億円	+52%
経常利益	80億円	+43%
純利益	50億円	+110%
配当	見通し 20円	前年度 10円

【TOPCON WAY】

トプコンは「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。

住

Infrastructure

医

Healthcare

食

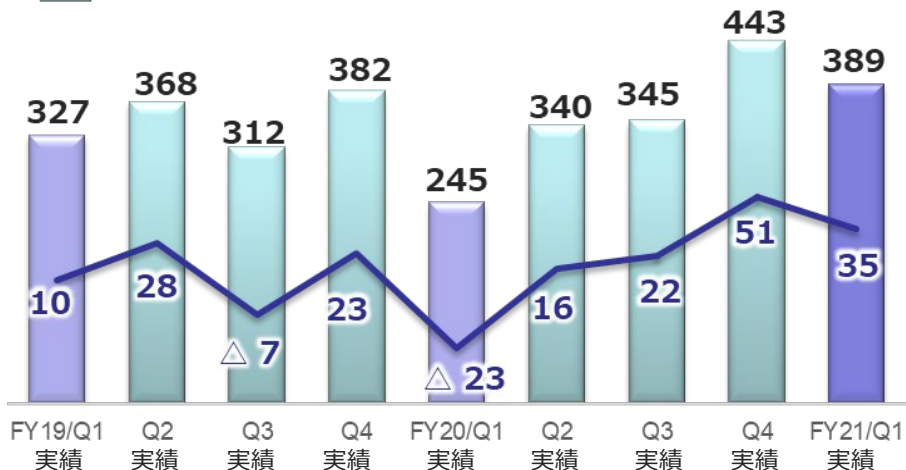
Agriculture

V. 参考資料

四半期別業績推移

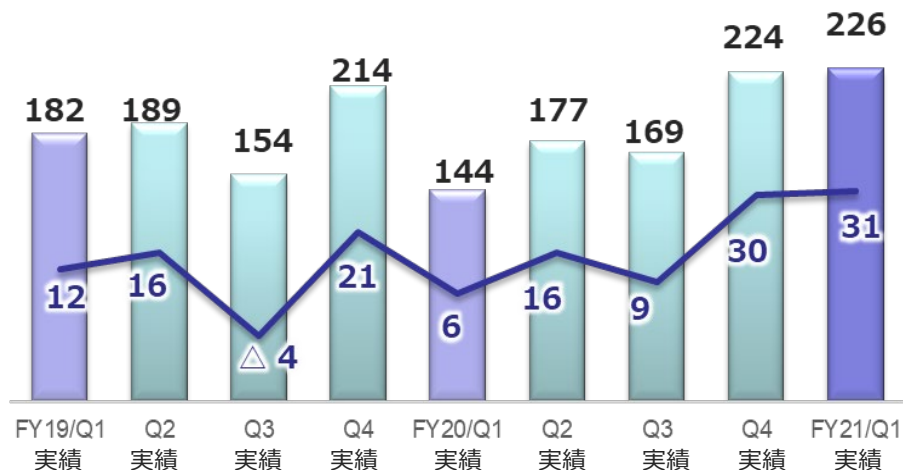
■ 全社

売上高 営業利益 (単位: 億円)



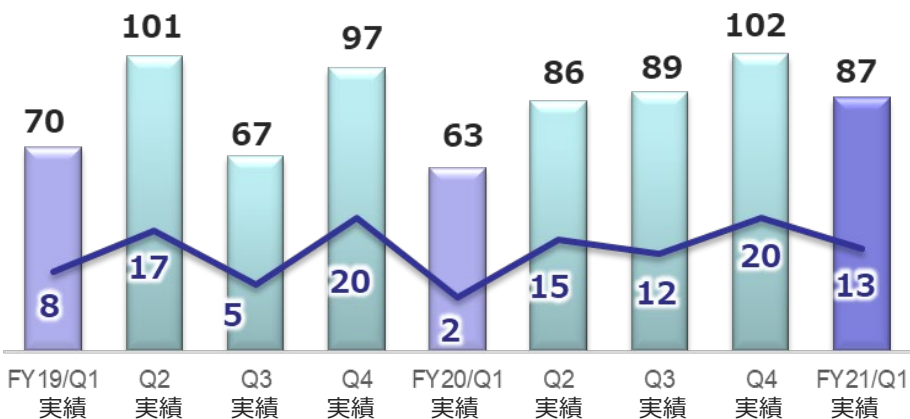
■ ポジショニング・カンパニー

売上高 営業利益 (単位: 億円)



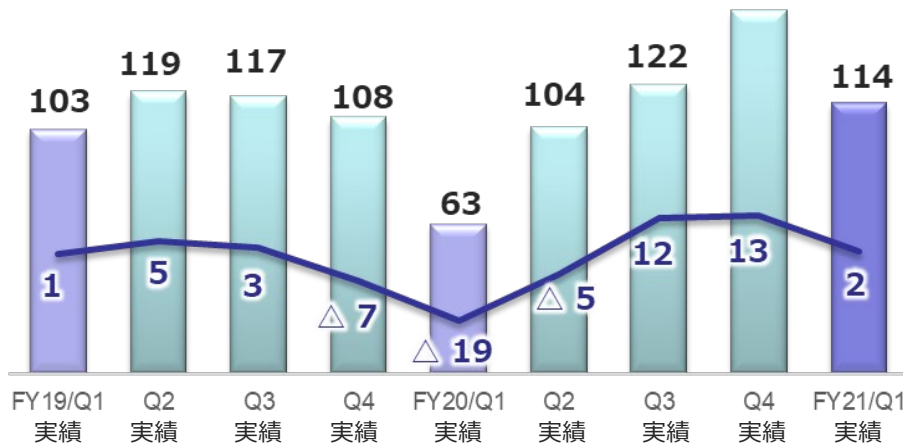
■ スマートインフラ・ビジネス

売上高 営業利益 (単位: 億円)



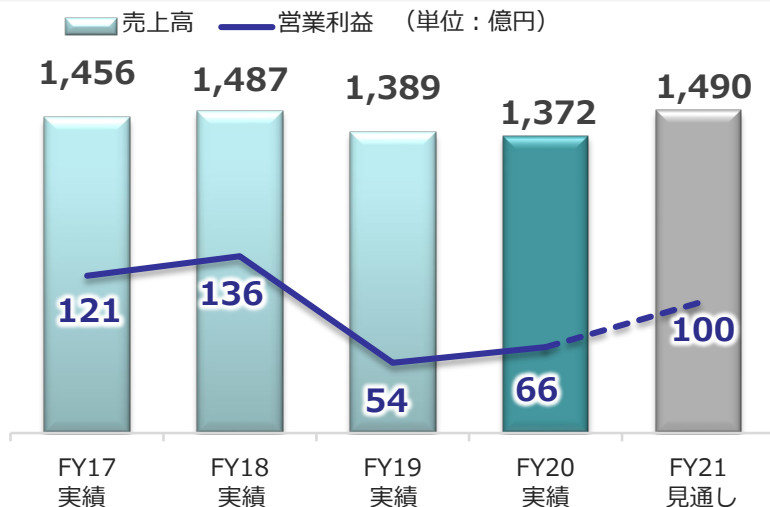
■ アイケア・ビジネス

売上高 営業利益 (単位: 億円)

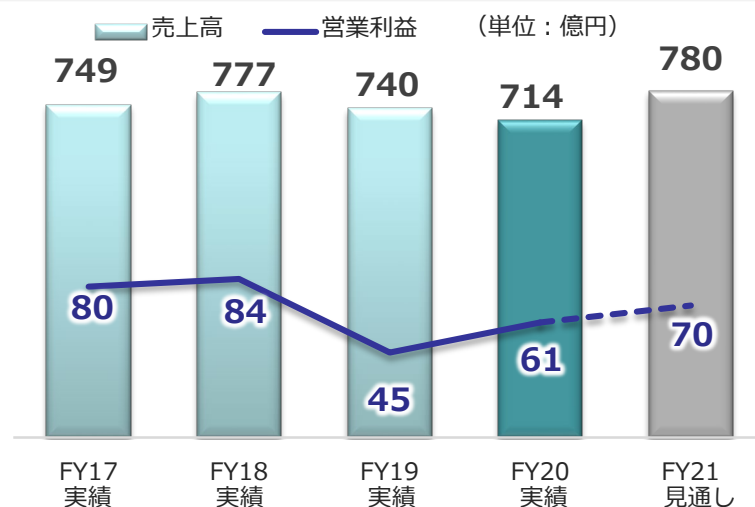


年間業績推移・見通し

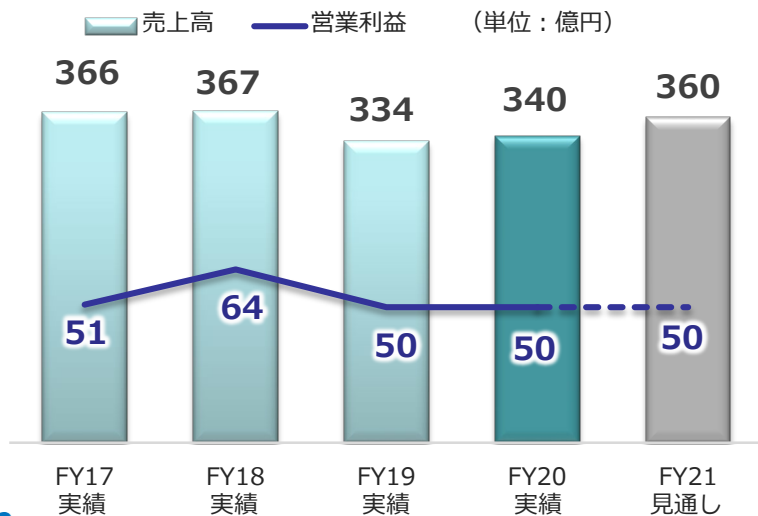
■ 全社



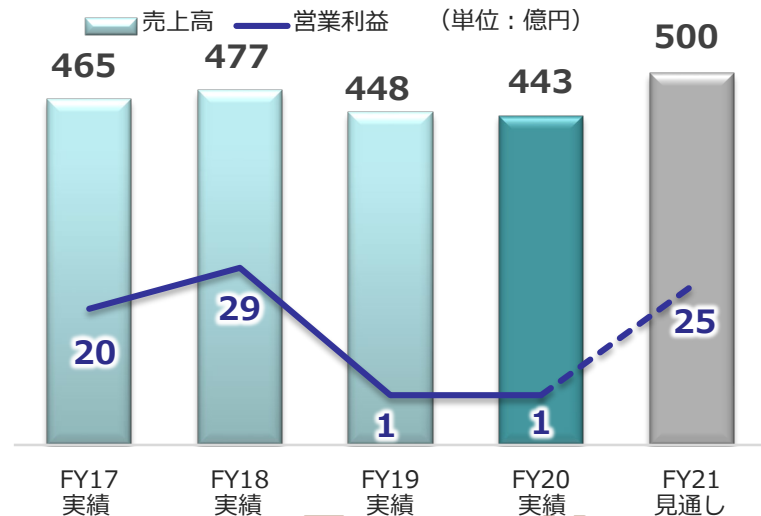
■ ポジショニング・カンパニー



■ スマートインフラ・ビジネス



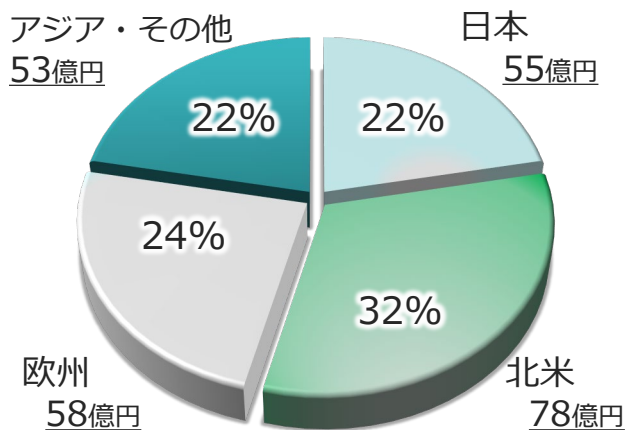
■ アイケア・ビジネス



地域別売上高

FY2020/Q1

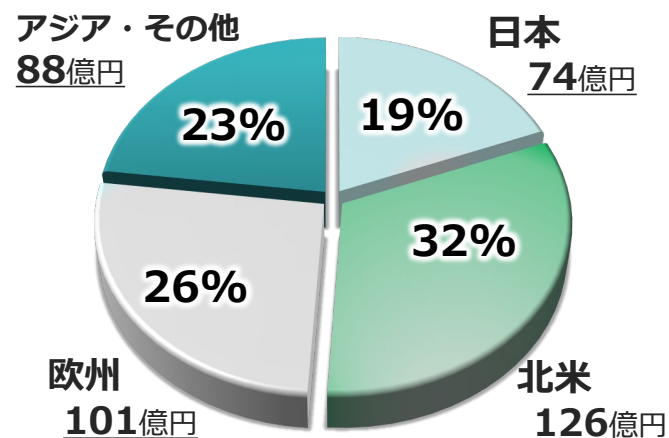
245億円



前年同期比
+59%

FY2021/Q1

389億円

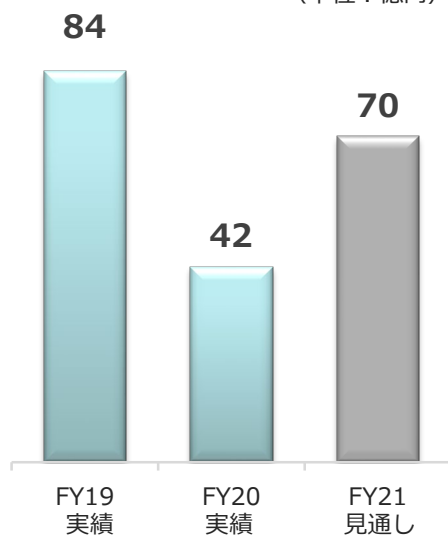


設備投資および研究開発費 / 為替感応度

■ 投資額・費用見通し

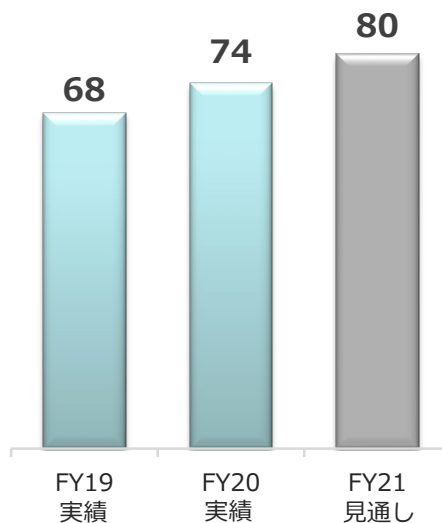
設備投資額

(単位：億円)



減価償却費*

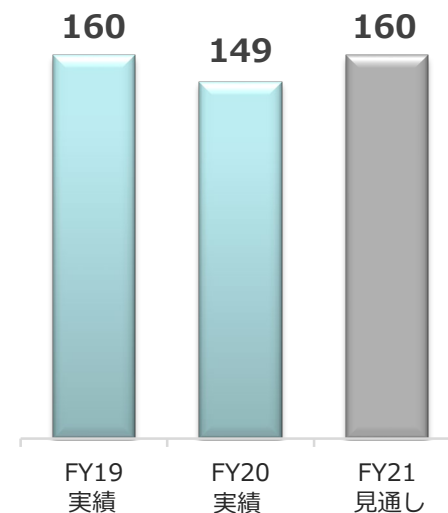
(単位：億円)



*のれん償却費を除く

研究開発費

(単位：億円)



■ 為替感応度（1円の変動による影響額）

USD：営業利益 1.5～2億円

EUR：営業利益 0.7～1億円



当資料取扱上のご注意

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、見通しのもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。

お問い合わせ先

株式会社トプコン 広報・IR室

TEL : 03-3558-2532

E-mail: investor_info@topcon.co.jp

URL : <https://www.topcon.co.jp>